



令和8年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年2月13日

上場会社名 KLASS株式会社
コード番号 6233 URL <https://www.klass-corp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年9月期第1四半期の連結業績（令和7年10月1日～令和7年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年9月期第1四半期	2,243	4.6	15	△9.8	3	△38.4	△3	—
7年9月期第1四半期	2,146	△2.5	17	—	5	—	2	—

(注) 包括利益 8年9月期第1四半期 3百万円 (△57.1%) 7年9月期第1四半期 8百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年9月期第1四半期	△0.63	—
7年9月期第1四半期	0.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年9月期第1四半期	9,623	3,022	31.4
7年9月期	9,779	3,066	31.4

(参考) 自己資本 8年9月期第1四半期 3,022百万円 7年9月期 3,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
8年9月期	—				
8年9月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和8年9月期の連結業績予想（令和7年10月1日～令和8年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	15.0	380	42.0	370	47.6	235	36.0	43.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	8 年 9 月期 1 Q	5,391,000株	7 年 9 月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	8 年 9 月期 1 Q	185,677株	7 年 9 月期	201,577株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	8 年 9 月期 1 Q	5,194,443株	7 年 9 月期 1 Q	5,390,923株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、大企業の設備投資や個人消費の堅調な推移によって、景気は緩やかな回復傾向を続けましたが、当社の主たるマーケットである住宅関連市場は、建設コストの高止まりや住宅ローン金利の上昇等の影響により、回復基調にはあるものの引き続き低水準の推移となりました。また、為替変動の影響による原材料・商品の価格高騰や、エネルギー価格上昇への懸念等、不安定な状況は依然として継続しております。

そうした経営環境の中、当社におきましては、インダストリーセグメントとニュー・インダストリーセグメントが誠に好調に推移し、前年同期を上回る売上高で全社を牽引しましたが、プロフェッショナルセグメントとコンシューマセグメントは前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,243百万円（前年同期比4.6%増）と前年同期を上回りましたが、損益面は、営業利益15百万円（前年同期比9.8%減）、経常利益3百万円（前年同期比38.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、主力商品の自動壁紙糊付機の販売は順調であったものの、当期（令和8年9月期）の目玉施策として令和8年2月から配布を開始する総合カタログの発刊を控え、施工工具等の新商品投入がやや抑制気味になったこと、大手壁紙ブランドメーカーの物流合理化機器の出荷が第2四半期にずれ込んだこと等が影響し、売上高は前年同期を8%程度下回りました。畳事業は、当社の強みである畳店への提案営業（畳店経営の構造改革）や、畳店向けの工具等のネット販売により売上拡大を図っており、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（中小企業庁）等の採択一巡の影響は残るものの、業績改善の兆しが見えてまいりました。ソリューション&ネットワーク事業は、適正な事業規模の確保を目指して、見積・請求管理クラウドツールの契約者増等を中心に推進しております。その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は1,544百万円（前年同期比6.5%減）、営業損失37百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、棺用畳は売上・利益ともに堅調に推移する一方で、特殊畳は長距離フェリーの客室等の新たな需要を開拓しましたが、大型案件に恵まれず売上がやや停滞しました。また、「サステナブル&リノベーション事業」として再編成したうちの住宅向けの畳替え事業は回復の途上です。もう一方の、ソーラー・エネルギー事業とメガソーラー発電所「三日月サンシャインパーク」をはじめとする売電事業は、順調に進捗しました。その結果、コンシューマセグメントの売上高は200百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益3百万円（前年同期比64.1%減）となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業は、大企業の活発な設備投資のほか、中小企業においても労働力不足に対応する省力化設備のニーズが増加してまいりました。当社では、二次電池製造装置、脱炭素関連装置等の大企業向けの製造設備等を継続的に受注しているほか、当社の本社所在地の地場産業である手延素麺の梱包作業の協働ロボットシステム「そうめん投入機」を新たに開発し納入するなど、マーケットニーズの拡大にも積極的に対応しております。食品機器事業は、当期（令和8年9月期）中の全数納入を目途に、大手外食チェーンからマルチディスペンサーを大量に受注するなど、省力化・省人化投資を踏まえた引き合いが一層活発化してまいりました。その結果、インダストリーセグメントの売上高は305百万円（前年同期比87.3%増）、営業利益37百万円（前年同期比509.7%増）となりました。

④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付け、得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。当第1四半期連結累計期間では、前期に続いて自動車関連業界の顧客からの追加受注が順調に進捗いたしました。その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は193百万円（前年同期比60.9%増）となりましたが、競合により利益率が低い案件が一部に発生したことと、役員研修の実施、新製品モデル機の減価償却費の計上等により一時的な経費が増加したことから、営業利益は7百万円（前年同期比38.7%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ155百万円減少し、9,623百万円となりました。資産のうち、流動資産は、棚卸資産が173百万円増加しましたが、現金及び預金が125百万円減少、売上債権が233百万円減少したこと等により、154百万円の減少となりました。固定資産につきましては、投資その他の資産が28百万円増加しましたが、有形固定資産が26百万円減少、無形固定資産が3百万円減少したことにより、1百万円の減少となりました。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ111百万円減少し、6,601百万円となりました。負債のうち、流動負債は、仕入債務が136百万円増加しましたが、未払法人税等が75百万円減少、賞与引当金が142百万円減少したこと等により、70百万円の減少となりました。固定負債につきましては、役員退職慰労引当金が8百万円増加しましたが、長期借入金が62百万円減少したこと等により、41百万円の減少となりました。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、3,022百万円となりました。これは、主に利益剰余金が57百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和7年11月14日の「令和7年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,308,567	1,183,027
受取手形、売掛金及び契約資産	1,328,279	1,010,160
電子記録債権	1,129,651	1,214,469
商品及び製品	881,902	909,455
仕掛品	199,618	345,572
原材料及び貯蔵品	271,098	271,495
その他	204,035	234,772
貸倒引当金	△547	△510
流動資産合計	5,322,606	5,168,443
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,638,743	1,619,449
土地	1,413,808	1,413,808
その他（純額）	565,473	558,268
有形固定資産合計	3,618,024	3,591,525
無形固定資産		
その他	59,071	55,163
無形固定資産合計	59,071	55,163
投資その他の資産		
その他	779,622	808,560
投資その他の資産合計	779,622	808,560
固定資産合計	4,456,719	4,455,249
資産合計	9,779,325	9,623,692
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	584,434	608,946
電子記録債務	919,619	1,031,224
短期借入金	1,780,000	1,760,000
1年内返済予定の長期借入金	272,858	274,858
未払法人税等	82,819	7,641
製品保証引当金	20,108	20,669
賞与引当金	180,347	37,685
役員賞与引当金	8,930	1,000
その他	316,162	352,836
流動負債合計	4,165,280	4,094,861
固定負債		
長期借入金	1,765,210	1,702,396
役員退職慰労引当金	318,200	326,800
退職給付に係る負債	411,034	415,339
その他	53,290	61,637
固定負債合計	2,547,734	2,506,172
負債合計	6,713,015	6,601,034

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,958,936	1,901,775
自己株式	△86,433	△79,617
株主資本合計	2,984,678	2,934,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,747	36,893
退職給付に係る調整累計額	51,884	51,430
その他の包括利益累計額合計	81,631	88,324
純資産合計	3,066,309	3,022,657
負債純資産合計	9,779,325	9,623,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	2,146,026	2,243,697
売上原価	1,463,039	1,555,216
売上総利益	682,987	688,480
販売費及び一般管理費	665,620	672,817
営業利益	17,366	15,663
営業外収益		
受取利息	112	281
受取配当金	219	230
受取保険金	449	—
補助金収入	725	174
スクラップ売却益	211	529
その他	937	1,219
営業外収益合計	2,655	2,434
営業外費用		
支払利息	9,036	11,486
支払手数料	1,104	1,155
為替差損	3,194	1,561
その他	820	279
営業外費用合計	14,155	14,483
経常利益	5,866	3,614
税引前当期純利益	5,866	3,614
法人税、住民税及び事業税	2,833	2,449
法人税等調整額	83	4,417
法人税等合計	2,917	6,866
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,949	△3,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,949	△3,252

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,949	△3,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,021	7,146
退職給付に係る調整額	2,048	△453
その他の包括利益合計	5,069	6,693
四半期包括利益	8,019	3,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,019	3,440
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	44,214千円	46,859千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	477,826	146,423	151,428	71,984	847,662
商品	1,156,882	54,124	2,279	41,282	1,254,568
その他	16,577	10,843	9,276	7,097	43,795
顧客との契約から生じる収益	1,651,286	211,392	162,983	120,363	2,146,026
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,651,286	211,392	162,983	120,363	2,146,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,651,286	211,392	162,983	120,363	2,146,026
セグメント利益又は損失(△)	△10,089	9,519	6,122	11,814	17,366

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	17,366
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	17,366

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	427,046	148,580	293,877	153,827	1,023,332
商品	1,100,292	41,614	4,446	31,202	1,177,556
その他	16,983	10,236	6,941	8,647	42,808
顧客との契約から生じる収益	1,544,322	200,432	305,265	193,677	2,243,697
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,544,322	200,432	305,265	193,677	2,243,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,544,322	200,432	305,265	193,677	2,243,697
セグメント利益又は損失(△)	△37,940	3,418	37,328	7,239	10,045

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	10,045
セグメント間取引消去	5,618
四半期連結損益計算書の営業利益	15,663